

第2次富山市SDGs未来都市計画に 関連する主な事業(分野別)

推進分野	取組内容	関連する主な事業概要
都市のかたち	データの利活用によるコンパクトシティ戦略の効果分析とレピュテーションの向上	コンパクトなまちづくり推進事業 高山本線活性化事業 等
	おでかけ定期券事業、地域自主運行バス事業の継続実施	おでかけ定期券事業 生活交通対策事業(地域自主運行バス運行分) 等
	次世代型交通システムへの対応	グリーンスローモビリティ運行事業 自動運転実証実験事業 等
市民生活	地域の健康づくり、介護予防、在宅医療・介護連携の推進	重層的支援体制整備事業 地域ふれあい活動支援事業 等
	総合的な福祉・医療サービスの展開によるウェルビーイングの向上	ヘルスケア推進事業(中山間地域オンライン診療・服薬指導実証実験事業)等
	市民の歩くライフスタイルへの転換、モビリティマネジメントの推進	歩くライフスタイル推進事業 公共交通利用促進事業 等
エネルギー	持続可能な都市経営を深化させるエネルギー政策の推進	富山市ZEH導入補助事業 脱炭素化推進事業(ゼロカーボン推進事業) 等
	再生可能エネルギーに着目した地域循環共生圏の構築	地域循環共生圏モデル構築事業 等
	自立分散型エネルギーシステムの面的展開とレジリエンスの強化	自主防災組織育成事業 防災対策事業(被災者生活再建支援システム整備事業)等
産業	センサーネットワークの利活用の推進	スマートシティ推進事業(センサーネットワーク利活用促進事業)等
	スマート農林水産業の推進による生産性の向上	スマート農林水産事業 集落営農促進対策事業(スマート農業機械導入支援事業)
	地域内資源循環プロセスの強化	ごみ減量化・資源化推進事業等
都市・地域	SDGsの普及展開、サポーター・推進コミュニケーターの育成、SDGs教育の推進	SDGs普及展開事業 海洋ごみ対策推進事業(サステナブルアクション開催事業) 等
	官民連携・未来共創の推進	未来共創推進事業 等
	コンパクトシティ戦略のパッケージ化と国際展開	国際展開事業 等

<取組①> 都市のかたち:グリーンスローモビリティ運行事業

事業概要	取組主体
持続可能な地域公共交通網の形成に向け、環境にやさしく低速で安全な「グリーンスローモビリティ」の実用化に向けて、富山駅北地区や郊外部での社会実験を通じて、新たな移動手段としての可能性を検証するもの。	富山市(交通政策課)、 ブルバールエリアマネジメント富山、 自治振興会等
2022年度(R4)の取組	2023年度(R5)の取組
取組内容 <ul style="list-style-type: none"> 富山駅北地区の更なる賑わいの創出や、魅力の向上を図ることを目的として令和4年8月、10月～12月まで富山駅北地区で運行社会実験を実施した。 郊外部における市民と観光客双方の輸送を担う新たな移動手段としての活用可能性を検証するため、令和4年3月～5月に岩瀬地区、令和4年7月～8月に熊野地区で運行社会実験を実施した。 	取組内容(予定) <ul style="list-style-type: none"> 富山駅北地区では、令和5年8月から本格運行を実施中である。 郊外部では、新たな移動手段としての活用可能性を検証するため、大沢野地区(R5.7.4～8.31)・四方地区(R5.9.5～10.31)・水橋中部地区(R5.11.6～12.27)の3地区で運行社会実験を実施。なお、車両はランドローカータイプを使用。
実施方法 <ul style="list-style-type: none"> 運行実施管理業務を委託し、地域住民や道路管理者、警察などの関係者と調整を図りながら運行社会実験を実施した。 	実施方法 <ul style="list-style-type: none"> 富山駅北地区については、ブルバールエリアマネジメント富山が運行主体となり、市及び県の支援(負担金)や協賛金を募りながら、8月6日から本格運行を開始している。 郊外部での運行社会実験については、運行業務を委託し、地域住民や道路管理者、警察などの関係者と調整を図りながら実施する。
取組課題 <ul style="list-style-type: none"> 充電式のため運行範囲が限られること。 冬季間の運行。 運転手の確保。 	
事業費 20,209千円	事業費 16,859千円

グリーンスローモビリティの特徴

- 電気で走るから地球環境に優しい。
- 静かに走るから会話を楽しめます。
- 窓ガラスがないから、季節感を体感できます。
- 雨の日は雨よけシートで濡れません。
- 時速20km未満で走るから街並みを楽しめます。
- 人が歩くスピードと同じくらいで走行するので、歩行者にも優しい。富山駅北地区での本格運行開始(令和5年8月～)



運行期間	2023.8.6(日)～11.26(日)
運行日	土・日・祝日 <small>嵐日のイベント等により運行を中止する場合があります</small>
運行時間	10時～16時
料金	100円(中学生以下は無料) <small>現金もしくはPayPay決済</small>

<取組②> 都市のかたち:自動運転実証実験事業

事業概要	取組主体
郊外・中山間地域における生活の足となる交通手段の確保や、車を使えない高齢者等の移動手段、さらにはバス運転手不足などの課題解決に向け、最先端技術を活用した持続可能な公共交通サービスの提供を検討するため、自動運転車両の実証実験を行うもの。	富山市(交通政策課)、朝日地区自治振興会
2022年度(R4)の取り組み	2023年度(R5)の取り組み
2023年度新規事業のため、取組なし	取組内容(予定) <p>婦中地域において、朝日地区を起点に商業施設や病院、鉄道駅などの主要施設をつなぐルートで自動運転車両の実証実験を実施する。</p>
自動運転のレベル <ol style="list-style-type: none"> 5 完全自動運転 4 場所など限定で完全自動運転 3 一定条件下でシステムが運転 2 自動で追い越しなど 1 自動ブレーキ・車線維持など 	実施方法 <ol style="list-style-type: none"> (1)実証期間 <ul style="list-style-type: none"> 令和5年10月23日から11月9日 10時から16時30分※土日を除く 令和6年2月上旬 (2)運行形態 <ul style="list-style-type: none"> 定時定路線 5便/日 運行延長 約11km (3)実証内容 <ul style="list-style-type: none"> 自動運転レベル4を目指した実証 積雪時の実証 複数年に渡る実証 コンパクトシティ政策における公共交通軸との連携(鉄道駅との接続) 公共交通空白地域の解消 など
	事業費 70,000千円



<取組③> 市民生活:地域ふれあい活動支援事業

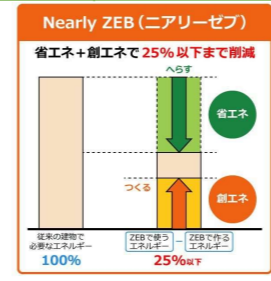
事業概要	取組主体
町内会等の地域住民やボランティア・NPO法人が行う、食堂開設による地域ふれあい活動事業に対して支援する。	町内会等の地域住民やボランティア・NPO法人

2022年度(R4)の取組	2023年度(R5)の取組
2023年度新規事業のため、取組なし	<p>取組内容</p> <p>食堂開設事業を実施する団体に対し、事業の立ち上げ及び初期の運営に要する経費の一部について、補助金を交付する。 ※令和5年4月1日～</p> <p>実施方法</p> <p>【補助要件】 ・年間24回以上食堂の開設。 ・子どもを含む地域住民に、無料または材料費の実費程度の負担で栄養バランスのとれた食事の提供を行う。 ・あらゆる世代の地域住民の交流活動を行う。 ・食物資源を有効利用し、フードロス削減に取り組む。</p> <p>【補助対象経費】 開設のための初期費用 ・調理器具購入費 ・食器購入費 ・会場借上料 ・保険料 など</p> <p>【補助金額】 一箇所あたり200千円(上限)</p> <p>事業費 1,157千円</p>

<取組⑤> エネルギー:脱炭素化推進事業(ゼロカーボン推進事業)

事業概要	取組主体
2050年の温室効果ガス排出実質ゼロに向けた方針・施策等を定めた富山市地球温暖化対策推進計画の趣旨に沿い、ゼロカーボンシティの推進に向けた各種施策を展開するもの。	富山市(環境政策課)

2022年度(R4)の取組	2023年度(R5)の取組
<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 「地球温暖化対策推進計画」を策定した(R5.3月)。 公共施設等総合管理計画に位置付ける施設や未利用地に対し、太陽光発電等の再エネ設備の導入拡大に向けた可能性調査を行った。 エコタウン交流推進センターにおいてZEB化の導入についての検討を行った。 自立分散型エネルギーシステムの市域への展開に向けて、婦中体育館に導入した再エネ設備等の効果検証を行った。 <p>実施方法 委託等により実施</p> <p>事業費 7,246千円</p>	<p>取組内容(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> エコタウン交流推進センターのZEB化の改修(空調の更新、照明のLED化等)を行う。 ※R5.10月～R6.2月予定 個人住宅における再エネの導入拡大を図るため、太陽光発電設備及び蓄電池の同時設置に対して、補助を行う(最大75万円)。 ※申請受付期間:R5.8月～11月 公共施設等総合管理計画に位置付ける施設や未利用地に対し、太陽光発電等の再エネ設備の導入拡大に向けた可能性調査を行う。 引き続き、婦中体育館に導入した再エネ設備等(太陽光発電・蓄電池等)の効果検証を行う。 <p>実施方法 委託等により実施</p> <p>事業費 106,527千円</p>

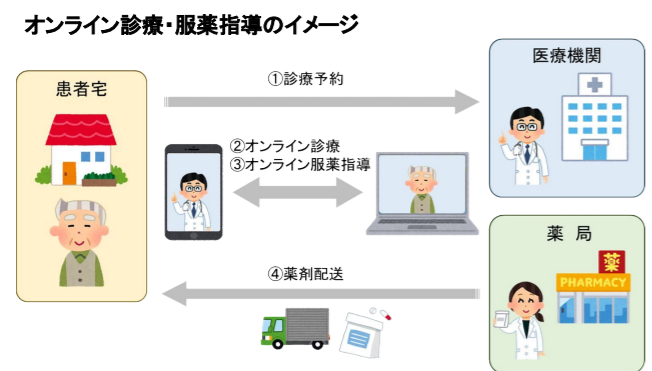


エコタウン交流推進センターのZEB化

<取組④> 市民生活:中山間地域オンライン診療・服薬指導実証実験事業

事業概要	取組主体
中山間地域における通院負担の軽減や医療資源の効率化を図り、中山間地域住民の健康増進に寄与するため、オンライン診療・服薬指導実証実験事業を実施する(R5.10月～R6年度まで)。 また、事業実施にあたり連携する病院、薬局のほか、患者や地域住民等への聞き取り等を通して、実証実験の評価・分析を行い、今後、中山間地域にオンライン診療・服薬指導を広めるための方策や課題について検証する。	富山市(福祉政策課)、おおやま病院、チューリップ大山薬局

2022年度(R4)の取組	2023年度(R5)の取組
2023年度新規事業のため、取組なし	<p>取組内容(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 中山間地域の65歳以上の住民を対象とした、医療・保健・福祉、情報通信機器の保有状況等に関するアンケートを実施する(R5.9月～)。 小見地区、牧地区での「みんなの保健室」開催時に、オンライン診療、服薬指導の紹介やアプリのインストールサポート等を実施する。 おおやま病院とチューリップ大山薬局にて、オンライン診療、オンライン服薬指導を実施する(R5.10月～R6年度まで) 関係者から聞き取り等を行い、令和6年度の事業の実施に向けて、実証実験の中間報告としてとりまとめる。 <p>実施方法</p> <p>事業の実施にあたり、市はおおやま病院、チューリップ大山薬局とそれぞれ協定を締結し、実証実験の評価・分析及びスマートフォン等の操作サポート等の業務を委託する事業者とともに、連携を図る。</p> <p>事業費 23,892千円</p>



<取組⑥> 都市・地域:海洋ごみ対策推進事業(サステナブルアクション開催事業)

事業概要	取組主体
海洋ごみの8割は、陸域で発生したごみが河川等を通じて海に流出していると言われている現状を踏まえ、市民一人ひとりのごみ削減の意識醸成と具体的な行動変容へとつなげるため、市内の河川にオイルフェンスを設置し、河川に流れるごみを「見える化」することで、海洋プラスチックごみ対策への市民の啓発等を行う。 また、川上の中山間地域から川下の海岸地域まで市内広域にわたって、環境に配慮したデイキャンプや海洋ごみに関するフォーラム、海岸ごみ拾いのイベント等を一体的に開催する。	富山市(環境政策課)

2022年度(R4)の取組	2023年度(R5)の取組
<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> オイルフェンス及び網場(あば)の設置 海洋ごみに関する小学生への特別授業 パネル展の開催 大型バナーフラッグの掲示 路面電車のラッピング等 <p>実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内の準用河川等にオイルフェンスや網場(あば)を設置し、回収したごみの分析を行ったほか、市内4つの小学校を対象に、オイルフェンスの見学や海岸のごみ拾い、海洋ごみに関する出前講座を行う特別授業を実施した。 公益財団法人日本財団と連携し、富山駅構内において海洋ごみ問題の意識啓発を目的に、大型バナーフラッグの掲示や路面電車のラッピング等を実施した。 <p>取組課題 中山間地域を含む、市内全域におけるさらなる海洋ごみ問題の啓発</p> <p>事業費 海洋プラスチックごみ等流出対策事業 5,963千円</p>	<p>取組内容(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 海洋プラスチックごみ対策としての「オイルフェンス」の設置(R5.7.28～R5.9.29) 海洋ごみに関する小学生への特別授業 海洋ごみについて考えるフォーラム 岩瀬浜での海岸清掃 海洋ごみに関するポスターコンクール等の関連イベントの開催(R5.10.22) <p>実施方法 委託事業等により実施</p> <p>事業費 15,348千円</p>



陸域からの流出抑制対策(オイルフェンス設置)

